

耳鼻咽喉・頭頸部外科

1) 研修スケジュール

月	午前 外来	午後 外来	17:00～ カンファレンス (15F中)
火	午前 手術	午後 手術	17:00～ 医局会 (7F)
水	7:45～ 症例検討会 (15F中)	午前 外来	午前 病棟
木	午前 手術	午後 手術	
金	午前 病棟	午後 外来	
土	午前 外来		

2) 耳鼻咽喉・頭頸部外科における形成的評価のための項目

・研修医として必要な耳鼻咽喉科領域の知識を習熟し、技能を身につける

形成的評価のための項目		研修前	研修 終了時	指導医 記入欄
1.	鼓膜、鼻内、口腔、咽喉頭の所見がとれる。			
2.	耳鼻咽喉科検査：各種生理的検査を理解し、結果を判定できる。			
3.	耳鼻咽喉・頭頸部領域のCT、MRIを読影できる。			
4.	鼻・副鼻腔の構造が理解できる (鼻副鼻腔手術に必要な知識)。			
5.	耳の構造が理解できる (鼓室形成術に必要な知識)。			
6.	咽喉頭の構造が理解できる (頸部手術に必要な知識)。			

a=十分できる b=できる c=要努力 (3段階評価) / ?=評価不能

3) 経験できる疾患や手技

経験できる疾患

1) 耳科学

耳垢、外耳道異物、急性中耳炎、滲出性
中耳炎、慢性中耳炎、真珠腫性中耳炎、
突発性難聴、良性発作性頭位めまい、末
梢性顔面神経麻痺

2) 鼻科学

アレルギー性鼻炎、鼻出血、急性副鼻腔
炎、慢性副鼻腔炎、鼻中隔彎曲症、鼻骨
骨折、鼻・副鼻腔癌

3) 口腔咽頭科学：

急性扁桃炎、扁桃周囲膿瘍、唾石、唾液
腺腫瘍、口内炎、咽頭炎、口腔癌、咽頭
癌、嚥下障害

4) 喉頭科学

反回神経麻痺、声帯ポリープ、喉頭癌、
急性喉頭蓋炎

5) 頭頸科学

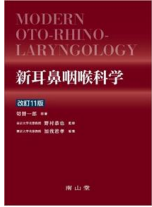
頸部膿瘍、転移性頸部腫瘤、頸部結核

経験できる手技

- ・耳垢除去
- ・聴力検査、ABR
- ・平衡機能検査
- ・自発眼振検査 (フレンツェル使用)
- ・温度眼振検査 (カロリックテスト)
- ・視運動性眼振検査
- ・指標追跡検査
- ・味覚検査
- ・嗅覚検査
- ・喉頭ファイバースコープ検査
- ・減感作療法
- ・気管切開術
- ・口蓋扁桃摘出術

耳鼻咽喉・頭頸部外科

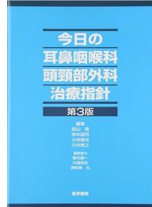
4) 推薦書籍



難易度★★★

コメント

わが国の耳鼻咽喉科領域のバイブル！



難易度★★

コメント

診断、治療が簡潔にまとめられた成書。



難易度★

コメント

短期間で、耳鼻咽喉科専門医になった気分になれる本。

5) 事前アンケート

1. 将来希望する診療科があれば教えてください。
2. 学会参加・発表、特別休暇(夏休みを含む)、血液センターなど事前に分かっている予定があれば教えてください。

6) 自由記載欄(研修について要望などがあれば記載してください。)

--

7) 研修終了時、指導医との振り返り(必ず記載し指導医がセンターに提出)

できるようになったと思うこと(研修医記載)	不十分だったと思うこと(研修医記載)
できていると思うこと(指導医記載)	今後頑張ってほしいこと(指導医記載)
指導医氏名(押印可) _____	
今後具体的にどんなことに注意して研修をしたいか ~次へのアクションプラン(研修医記載)	

研修医氏名 _____